

一人一人の個性を輝かせ、主体的に学ぶ子供の育成 ~つながる 挑む 考動する~



河内小だより



三次市立河内小学校 令和6年6月号

河内地域を もっともっと活性化し みんなが元気なまち
にするために 自分にできること・・やってみたいこと・・



みよし学園のコミュニティ・スクールが始まって3年目を迎えました。本年度はコミュニティ・スクールの活動をさらに充実させるべく、「生活科」や「総合的な学習の時間」の新たな学習や取組として、「河内の地域課題」について子ども達が学習し、その課題解決に向けて、「自分たちは何ができるのか」、「何がしたいのか」を考え、地域に貢献できる学習や活動に取り組んでいきます。

6月17日(月)には、学校運営協議会の委員である河内まちづくり連合会長の堂前昭己さんと、同じく学校運営協議会委員の田上明子さんに学校に来ていただき、3年生～6年生が河内地域に対する思いをいろいろと聞かせていただきました。

堂前さんからは、25年前に「河内まちづくり連合会」が住民自治組織として始まった経緯や、どんな気持ちでどのような活動をされてきたのか、そしてこれからはどんな河内にしていきたいのか・・・などについて語っていただきました。

田上さんからは、「河内が大好きで、この河内を未来へつないでいきたい」という思いから、現在活動されていることについての話を聞きました。お二人とも河内地域を今よりもさらに発展・活性化させようと、熱い思いをもって日々取り組んでおられることに改めて感動しました。

これから子ども達は河内地域の一員として、河内地域のために「自分が取り組みたいこと」について考え、テーマを決めて学習を進めていきます。どんなテーマを子ども達が考えるのか、楽しみにしておいてください。そして、課題解決のために保護者・地域の皆様のお力もお借りすることとなります。保護者・地域の皆様との協働学習のスタートです!! よろしくお願いたします。



赤ちゃんから
お年寄りまでが
主人公のまちに



やってみられないこと
はない・・・



子どもも大人も
一緒になって
ワンチームで
河内のさらなる発展
をめざして・・・

令和6年度 河内小学校・河内地区住民合同体育祭



5月26日(日)の「河内小学校・河内地区住民合同体育祭」には多数ご参加いただきありがとうございました。子どもたちは、体育祭の本番に向けて、「地域や保護者の皆様に一生懸命に頑張っているカッコいい姿を見せ、感動させよう!」を合言葉に練習を積み重ねてきました。6年生は河内小学校のリーダーとして、団長としての役割、開会式での代表あいさつ、ラジオ体操のお手本、児童の競技の出入りのリードなど様々な役割を担ってくれました。練習の始めの頃は、大きい声を出したり、みんなの前で話したりすることに少し恥ずかしさやプレッシャーを感じていた6年生でしたが、練習を重ねていくうちに、リーダーとしての自覚が芽生え、表情もキリッとしてきて、みんなをリードする声にも張りが出てきました。当日はまさにリーダーとしてのカッコいい姿を見ていただくことができたのではないのでしょうか。5年生もサブリーダーとして6年生をしっかりと支えてくれました。1年生から4年生も高学年の姿をモデルに、自分の力を精一杯発揮することができました。体育祭の本番はもちろん、それまでの練習などの取組を通して大きく成長した子ども達でした。保護者・地域の皆様のあたたかいご声援ありがとうございました。



一生懸命は
美しい



えがお
いっぱい